

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年1月14日 (2010.1.14)

【公開番号】特開2006-339753(P2006-339753A)

【公開日】平成18年12月14日 (2006.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-049

【出願番号】特願2005-158857(P2005-158857)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/04 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 1 0 8 M

H 0 4 N 1/12 Z

G 0 3 G 15/00 1 0 7

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月24日 (2009.11.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

給送される原稿の画像を、透明部材を介して画像読取手段によって読み取る画像読取装置において、

前記透明部材と間隔を保って対向して設けられ、前記透明部材との間に原稿が搬送される対向部材と、

前記透明部材と前記対向部材との間を搬送されて読取位置を通過する原稿を前記対向部材側へ寄せるエアを流すエアー流生成手段と、

を備えることを特徴とする画像読取装置。

【請求項 2】

前記対向部材より原稿搬送方向上流の原稿搬送路に配された原稿端部検出手段と、

前記原稿端部検出手段の検出信号に基づいて前記エアー流生成手段の作動を開始させ、  
原稿が前記対向部材を通過している間は前記エアー流生成手段を作動させるように制御するエアー作動制御手段と、

を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像読取装置。

【請求項 3】

読取前の原稿の材質又は坪量、弾性力、サイズの情報が入力される情報入力手段と、

前記情報入力手段によって入力された原稿情報から、前記エアー流生成手段によるエアー流量を予め決められた量に制御するエアー流量制御手段と、

を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像読取装置。

【請求項 4】

前記対向部材と前記透明部材との間隔量を調整するギャップ調整手段を備えることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【請求項 5】

前記対向部材と前記透明部材との間隔量を調整するギャップ調整手段と、

読取前の原稿の坪量が入力される情報入力手段と、

前記情報入力手段によって入力された原稿の坪量から、前記ギャップ調整手段により前記対向部材と前記透明部材との間隔量を予め決められた量に制御するギャップ調整制御手段と、

を備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像読取装置。

【請求項 6】

前記情報入力手段によって入力された原稿の坪量から、前記エアー流生成手段によるエアー流量を予め決められた量に制御するエアー流量制御手段を備えることを特徴とする請求項 5 に記載の画像読取装置。

【請求項 7】

前記エアー流生成手段は、前記透明部材と前記対向部材との間を搬送されて前記読取位置を通過する原稿を前記対向部材側へ吹き付けるエアー吹き付け手段であることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【請求項 8】

前記エアー吹き付け手段は、前記対向部材の原稿搬送方向上流側から前記対向部材に向かってエアーを吹き付ける上流側吹き付け手段を有することを特徴とする請求項 7 に記載の画像読取装置。

【請求項 9】

前記エアー吹き付け手段は、前記対向部材の原稿搬送方向下流側から前記対向部材に向かってエアーを吹き付ける下流側吹き付け手段を有することを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の画像読取装置。

【請求項 10】

前記エアー流生成手段は、前記透明部材と前記対向部材との間を搬送されて前記読取位置を通過する原稿を前記対向部材側へ引き付けるエアー吸引手段であることを特徴とする請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の画像読取装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために本発明にあつては、以下の構成を採用する。すなわち、

給送される原稿の画像を、透明部材を介して画像読取手段によって読み取る画像読取装置において、

前記透明部材と間隔を保って対向して設けられ、前記透明部材との間に原稿が搬送される対向部材と、

前記透明部材と前記対向部材との間を搬送されて読取位置を通過する原稿を前記対向部材側へ寄せるエアーを流すエアー流生成手段と、

を備えることを特徴とする画像読取装置である。